

会議名(審議会名等)

平成23年度第1回小金井市市民健康づくり審議会

事務局(担当課)

福祉保健部健康課

開催日時

平成23年5月16日(月) 13:30~14:30

場所

小金井市保健センター大会議室

出席者

審議会委員 13名

会長 丸茂 恒二委員 副会長 鴨下 健夫委員

委員 木下 隆一委員 新藤 芳雄委員 西村 多加子委員 小林 久滋委員

木所 義博委員 篠田 昭彦委員 古明地 節子委員 善如寺 日雄委員

板倉 真也委員 増田 和貴委員代理 秦 郁江委員

事務局

福祉保健部長

健康課長

健康課主査

健康係長

ジャパンインターナショナル総合研究所社員 2名

傍聴の可否及び傍聴者数

傍聴可・傍聴者数0人

会議次第

別紙のとおり

審議会内容

健康課長 本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。ただ今から平成23年度第1回小金井市市民健康づくり審議会を始めさせていただきますと存じます。初めに事務局より報告させていただきます。委員に若干変更がありました。多摩府中保健所から選出されております、阿保委員が4月の人事異動で増田委員に変更になりました。本日は所用で欠席という事で秦郁江さんが代理でご出席いただいています。よろしく願いいたします。また、市民選出の時安委員ですが、小金井市から転出されたという事で委員の辞退届が提出されました。審議会の委員の任期が、来年の24年1月までという事と保健福祉総合計画の策定が進行中であり、後任の募集はせずにこのまま1月までは現状のままで進めていきたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

(承認)

よろしく願いいたします。次に事務局の体制も変わりましたのでご報告させていただきます。まず、福祉保健部長ですが、前任の小俣が定年退職となりまして、後任に佐久間が福祉保健部長に就任いたしました。一言ご挨拶申し上げます。

福祉保健部長 みなさんこんにちは、4月1日付で福祉保健部長を拝命しました佐久間です。どう

ぞよろしく願いいたします。今回の審議会におきましては、今年度策定をいたします保健福祉総合計画の専門部会として、健康増進計画を策定することになります。皆様にはその中でご協議をいただくこととなりますので、ぜひご協力を賜りたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

健康課長 ありがとうございます。また、健康課長も4月から前任の高橋に変わりまして、阿部が担当させていただきます。よろしく願いいたします。それでは丸茂会長、開会のご挨拶をよろしく願いいたします。

会長 こんにちは。本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。年度も変わって、市の職員の方、委員の方に何人かが交代された方がいらっしゃいますので、よろしく願いいたします。本日は議題にありますとおり小金井市保健福祉総合計画について、中心になっております、よろしくご審議の程お願いいたします。

健康課長 それでは、小金井市保健福祉総合計画を担当しております、株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所の職員の方をご紹介します。

岡研究所員 昨年度の審議会でご挨拶を申し上げましたが、小金井市保健福祉総合計画の調査策定の事業依頼をされています、ジャパンインターナショナル総合研究所と申します。どうぞよろしく願いいたします。

健康課長 ありがとうございます。次に資料のご確認をお願いいたします。お手元に次第書と保健福祉総合計画に伴うアンケート調査結果、それぞれ委員の方に直接送付させていただいております。お持ちいただきましたでしょうか。それと審議会委員の名簿となります。アンケート調査結果がお手元に無ければご用意しておりますのでお申し出ください。それでは、これより議事に入らせていただきます。会長、よろしく願いいたします。

会長 それでは議事に入らせていただきます。議事の1番の小金井市保健福祉総合計画について、報告をしていただきたいと思っております。

岡研究員 それでは、前回の策定委員会でアンケート案のご検討いただきまして、それに基づき、調査を実施し回収が済みました。表書きの方の四角に囲った部分が回収結果を示しております。20歳以上の市内の方を対象に2,000名、無作為で抽出して実施し、回収数が793名、回収率が39,7%。大体、他で健康関係の調査を行っていますが、3割から5割くらいの回収率になっており、平均的な回収率になっております。下の方に報告書の見方等を示しておりますけれども、設問を1つ選んでくださいというものと、2つ以上選んでくださいというものがありますが、1つ選びますと合計100%になりますが、四捨五入の関係で0.1%位ずれる場合があります。複数回答の場合にはいくつも選んでいただきますので、多少100パーセントを超える場合もあります。後、不明の回答と表の中に入れるというものが出てきますが、サンプルの合計数ということで、次の頁を開いていただきますと、図がありましてそれぞれ説明があります。nは回答を示す数字になっております。

2頁は回答者の性別で、今回はとりあえず入力した数字を単純集計の結果だけをお示ししております。次回にかけては男女別、年齢別等を示して行きたいと思っております。今回は単純集計の結果だけをお示ししておりますので、よろしく願いいたします。男性よりも女性が6割を示しております、女性の回答が非常に多い結果になりました。年齢層で行きますと、30代から60代にかけて多くなっております。少ないのは20歳代と80歳代の高齢者だけが少なくなっておりますが、このような結果になっております。やはり、生活習慣に関連ある世代である

30歳代位から60代の方の回答が把握できていると思われます。この性別と年齢層につきましては、後ろの設問にかけて、次回に検証していきたいと思ひます。家族構成についても聞いておりますが、一人暮らしの方が1割以上いらっしゃいました。2人暮らし、2世代が半分位の回答となっております。一人暮らしの年齢がどういふ感じかは、次回検証していきます。職業、仕事のことですけれども、会社員・公務員の方の回答が3割で一番多くなっております。家事専業、主婦の方ですが2割。無職も2割近く、大体高齢者の方だと思ひます。パートタイムが1割、自営業が8%と職業の内訳になっております。

続きまして、身体の状態・健康状態についてです。今回の調査の2番以降は、健康への意識・病気にかかった時の処置を聞いています。1で体脂肪を測ったことがありますかは、6割の方が測ったことがありました。これは国の調査で、体脂肪という言い方はしていませんが、体重管理を行っている人の割合が7割ぐらいで同じになっています。次に最近、気になっている病気はどんな病気ですかでは、がんが一番多くなっています。肥満が続いており、高血圧、歯周病あたりが10%となっており、割と関心が高い病気になっています。そして脂質異常が16.5%、糖尿病が14%、心の病についても1割程度、脳卒中、骨粗しょう症、心疾患も約1割近くとなっております。こんなところが、生活習慣病に関心のある内容となっております。無いという方も2割いました。健康な方だと思ひます。次に、生活習慣病とは何かを知っていますか。これも知っているという方が7割以上おりました。続いて、メタボリックシンドロームについてしていませんか、最近メタボ健診が行われていますので、8割の方が知っているという高い割合になりました。9番は生活習慣病を見直さなければと考えるのはどのような時ですか、というひっかけですが、健診で異常値が出たときというのが半分以上の方で5割を超えて高くなっております。体調が悪くなったとき、体形が気になるときが4割近く、病院で注意されたときは3割ぐらい、これは年齢・性別で変わってきますので注意したいと思ひます。

次に健診結果に異常値があったらどうしますか。ですが、すぐに病院に行く方が6割強、生活を見直す方が5割以上、合わせて半分以上の方が何らかの対応をするとしています。次が各種健診の1年以内の受診状況です。一番左側の白い部分が市の健診、次がその他の医療機関での健診、次と一番右側の黒い部分は未受診の回答となっております。健康診査は、市でもどこでも何らかの機関で受診している方が7割います。人間ドックは15%、胃がん・肺がん・大腸がん・子宮がん・乳がん検診は大体10%位の受診率となっております。問11でどこでも受診していないに1つでも回答した方、健康診断かもしれませんし、がん検診かもしれませんが、その方たちが受けなかった理由は、心配な時は医療機関を受診しますというのが16%、必要が無い方が10%弱、受ける時間が無い、医師に診てもらっている方もいます。下の方で理由は無い、無回答は、医療機関を決めているという事になります。出ていない理由は上の方に尽きると思ひます。

続きまして、健診の費用の問題です。受診する際、自分で支払う費用を設定することにどのようにお考えですか。費用が発生するのは当然であるが16%、費用が発生するのはやむを得ないという方が56%、約7割の方が発生に賛成を表しています。また無料にすべきという方が25%との内訳になりました。9頁になりますが、受診する際自分で払う費用はどのぐらいが妥当になりますかですが、これは費用を払っても良い方に対する問になりますが、一番多いのは2,000円から3,000円未満が大体4割位になります。続いて1,000円から2,000円未満が3割、合わせて1,000円から3,000円の範囲で6割から7割の方の回答があります。

続きまして、栄養・食習慣について、1日3食ちゃんと食べている方は8割、食事の時間が決まっている、朝食を食べるが70%位います。栄養のバランスを考えている、量を調節しているがそれに続いています。根本的には年代による差が大きいと思われます。若い世代は朝食を食べる機会が少ないこともありますが、もう少し掘り下げたいと思ひます。

続きまして11頁、あなたがふだん、健康のために気をつけていることは何ですかですが、野菜を食べるようにするという方が8割近く回答されています。野菜を食べるという事で健康を考える方が多いという事です。次に塩分を控える、油物を控える、魚を食べる、大豆製品を食べるという方が半分近くいらっしゃいます。腹八分目にする、糖分を控える、楽しく食べる方も3割

います。食生活に関する健康への留意点です。

続きまして12頁は、食事バランスガイド。これはアンケート調査票に、厚生労働省が作って記載している、こまの形をした食事のバランスの知識を表したのですが、普及を図っているわけです。知っている方が3割、参考にしていない方が1割で合計4割くらいの方が知っている。まだ、知らないとか内容を知らない方が6割くらいいます。知らない方が多い状況です。

続きまして、運動についてです。日頃、何らかの運動をしていますか。これも男女差があるのですが、はいという方が53.5%。これについては東京都の調査を見ても、平均60%位が運動していると回答していますので、若干都の平均より低い回答になっています。月に1回以上行う運動、問18で「はい」と回答した方の運動の内容ですが、散歩が23%、ウォーキングが20%で、約4割の方が基本的には歩くことが中心になっています。少なくなりますが、ジョギング、バドミントン・テニス、水泳、ストレッチ、これが5%前後になります。

続きまして14頁ですが、運動していない、「いいえ」と答えた方の内訳ですが、時間が無い方が47%、これも年齢層でみると30代から40代位の男性が多いのではないかと思います。運動が嫌いが17%、場所が無い、お金がかかる、仲間がいないという理由が1割程度。理由がないという方も3割位います。高齢者の方が多いのではないかと思います。運動を続けるには、どのようなことが必要だと思いますか。まず、望まれているのが場所の問題で半分位、仲間が4割位、なかなか一人ではやりにくいのではないかと思います。機会、きっかけが無いとやはりはじめにくい。軽スポーツの普及、ニュースポーツという形で言われていますが、そういうものもあげられています。

続きまして、休養・睡眠・こころの健康について、1日平均の睡眠時間については6～7時間の睡眠時間の方が35%、5～6時間の睡眠時間の方が30%、6割から7割位が6時間前後の睡眠をとっています。7～8時間の睡眠時間の方が22%、少ないのは5時間未満で5%となっています。睡眠による休養が十分とれていますかについて、十分とれている、これは問22、睡眠時間とのクロスですが26.5%、まあまあが50%、7～8割は休養がとれているという事です。あまりとれていない、まったくとれていないが2割くらいです。これは国の調査を見ますと、あまりとれていない、まったくとれていない割合が18%位です。大体国と同じくらいとなっています。

続きまして、ここ1ヶ月間、不満、悩み、苦勞等によるストレスがありましたか。大いにあるが2割、多少あるが約5割となっています。無いという方は少ないと思うのですが、まったく無いが4.3%です。大いにある方のストレス解消が課題になると思います。ストレスがあった時の解消法は、次のうちのどれですか。テレビを見る、音楽を聴くが一番多く43.3%、楽観的に考える、悩みを聞いてもらう、趣味を楽しむが同じくらいで3割です。後は運動する、飲酒、我慢して耐える、食べるという順序で1割から2割程度になっています。次は17頁ですが、ふだんから、何か趣味や楽しみを持つようにしていますか。いつも心にかけている方が4割、ときどき心にかけている方が34%、8割近くが何らかの趣味や楽しみを持っています。

続きまして、飲酒・アルコールに関する設問です。週に何日お酒を飲みますか。毎日という方が16.8%、これも男女差があります。週5～6日の方が8%、週3～4日の方が6%。これに関しては国の方では、週3日以上かつ1日1合以上飲む人で分類しておりますけれども、問28ともクロスが必要ですが、国による週3日以上、1合以上の人の割合が20.3%となっております。問27で週3日～4日以上が3割近くなりますから、問28の合数を合わせて比較していきたいと思います。問28の飲んでも1合未満というのが39%、1合～2合未満が35%、2合～3合未満が14%、3合以上飲む方が5%となっています。

続きまして、歯と口腔の健康について、ふだん、歯や歯ぐきの健康のためにしていることは何ですか。歯が痛んだ時にすぐ受診をするようにしているが44.5%、食後必ず歯磨きをする方が42.7%、歯間ブラシや糸ようじを使っている方が35.1%、定期的な歯科健診が28%、複数回答ですのでダブって回答されていることがあります。続いて現在のあなたの歯の本数について、20本以上ある方が75.8%、これは年齢別にもクロスすれば分かる形になります。20本

以上歯がある内容については、国の方では60歳代で64%、70歳代で19%となっています。続きまして、保健センターで実施している歯科事業について、知っているものを答えなさい。歯科健診が26.1%、妊婦歯科健診が16.9%、むし歯予防教室、フッ素塗布・歯科健康相談が10%、また、無いという方が5割超おられます。

続きまして、喫煙について、問32ですが、現在たばこを吸っていますか。吸っているという回答が12%で少ない回答になっています。国の結果では23%位吸っている回答になっていて国の半分位になっています。問33で吸っている方でやめたいと思っている方が27.4%、これも国の調査で、やめたい方は34%、大体3割前後です。本数を減らしたいが30.5%になっています。次に問34、あなたはたばこが健康に与える影響について、どれだけ知っていますか。やはり一番多い回答が、肺がんで9割近い方が肺がんと関連を感じています。受動喫煙についても7割近くになっています。妊婦への影響も6割近くいます。それから、気管支炎、ぜんそく、心臓病、脳卒中、歯周病も3割近くいます。問35ですが、市内の公共施設における受動喫煙対策についての設問です。満足しているが11.2%、ほぼ満足が30.8%。40%近い方が満足しているとなっています。やや不満が13.4%、不満が11.5%。わからない方も25.7%いらっしゃいます。以上までが健康に関する設問になります。後は全体的なサービスについてです。

まずは保健医療サービスについて、健康づくりや保健医療に関する情報の入手先ですが、テレビ・ラジオが一番多く6割、新聞・雑誌が5割、市や都の広報・パンフレットが4割、病院・診療所、インターネットが続いています。問37、健康に関する相談ごとはどこでされていますか。かかりつけのお医者さんが一番多く50%、そして家族が同じ50%近くになっています。友人・知人、職場の同僚と続いています。続きまして、市が提供する保健医療サービスについて、どのようにお感じですか。満足、ほぼ満足を合わせると13%、また、やや不満、不満を合わせても13%となっています。普通が26%、分からないが40%になっています。

続きましては問39、市が実施している以下の保健医療サービスに参加したことはありますか。これは一番下に書いてありますように、グラフの左側が「ある」、真ん中が「ない」、右側が「無回答」となっています。あるという方は、予防接種が3割位、夜間診療が25%、がん検診20%、特定健診が20%位、乳幼児・妊産婦健診が16%、集団健診が13%、それに1割近いものが歯科事業、後期高齢者健診、新生児訪問になっています。

続きまして、前頁で利用はしていないが事業を知っているかという方の割合を示したものです。グラフの左側が「知っている」方となっています。休日夜間診療については半分以上の方が知っていると回答しています。予防接種、がん検診についても4割から5割近くの方が知っている。それから乳幼児・妊産婦健診が42.9%となっています。続きまして問40、お住まいの地域の医療サービス・病院等についてです。満足・ほぼ満足を合わせると23%、やや不満・不満についても21%で大体同様な結果になっています。普通については33.7%の結果になっています。問41、あなたがかかりつけの主治医などを決めているものについて、お答えください。かかりつけ医を決めている方が6割、かかりつけ歯科医を決めている方が半分以上います。あと、薬局を決めている方が2割います。

次に10 今後の保健医療の取り組みについてです。何を市では充実していくべきだと思いますか。健診や各種検診が一番で6割以上、続いて休日・夜間診療、小児の救急医療等の医療の充実が4割近く、情報提供が3割近く、孤立化の防止がありますが、以前はそんなに多くなかったのですが26%になっています。そして生活習慣病対策、こころの健康相談、働き盛りへの健康支援となっています。そして最後、問43、44については記述したものを打ち込むようになっていますので入力後、分類し分析したものを、結果が出次第お示ししたいと思っています。単純集計の結果ですが、ご報告いたします。

会長 ありがとうございます。ただ今アンケートについての詳しい説明がありましたが、本件についてご審議をお願いいたします。ご質問・ご意見はありますか。

板倉委員 今回のアンケート結果が出てくる前に、市の方から前回の会議録が送られてきました。

1月24日の審議会なのですが、私が質問している部分があります。会議録の5頁になりますが、特に今回のアンケートの設問で言いますと、8頁の間13になるのですが、私のこの時の、5頁の真ん中で私が発言していて、2つあるうちの1つなのですが、受益者負担のことで質問をしています。その時の当時の福祉保健部長のここでの答弁というのが下から6行目です。その裏の頁で私がもう一度質問した時に、設問の仕方については考えさせてほしいと言われていました。現在無料となっている各種健診がどうあるべきかをお伺いしたいと言っているのですが、アンケートの8頁の間13を見ると、現在無料という事が書かれていない。検診事業の受診されている方は、基本的に無料だということ分かっていると思うのですが、検診事業の受診されていない方は、自己負担がどのくらいかもあまり知られていないと思いますので、この時の福祉保健部長が述べられている内容の方向での設問にはなっていないのではないかと、今回のアンケートの回答を見ながら思った、一つの疑問点です。現在も無料で行われていますよという事を知らした上でのアンケートであれば、もうちょっと違った配慮があったのかなというふうにも、私は認識したのですね。その点について、当時の部長の答弁内容と今回のアンケートの設問内容についてちょっと違いがあるのではないかと考えていますが、その点についてどのようにお考えになっているかをお伺いしたい。

福祉保健部長 私の方からお答えします。経過が今現在私の方では判りませんが、確かに板倉委員のおっしゃる通り、当時の福祉保健部長が一定考える必要があると答えております。アンケートを見ますと、今現在検診費用については無料、乳がん検診については2,000円という事になっています。このお金は高く、その他検診にはかかっている事が前提にありきのアンケート調査でなければおかしいのではないかとこの事ですね。正直申し上げて、私どのように、このアンケート調査になったかの経過が分からないのですが、経過が分かる方はいますか。議事録との経過がありますか。

岡研究員 はい。設問するにあたって、意見を伺いまして、案を出して調整をいたしまして、決定は市の方でお願いしています。案は前回の策定委員会でお示しし、調整しました。一旦無料で作成し、内部で検討いただき、検診によっては現在無料のものもあるし、有料のものもある中で、常に無料という形にならないので、変更したと思います。

福祉保健部長 最終的にどうしたかが分からないのですが……

板倉委員 見解を述べておきたいと思うのですが、前回の1月24日のアンケート素案を出されてきていて、私は資料にあるような事を質問しています。当時の小俣部長は先に有料化ありきではないのだけれども、と述べられているのですが、素案の段階でのアンケートの設問の仕方というのは、有料化を前提にした内容になっているので、ちょっと違うのではないですか。現在無料という事を知らせておかないと、無料の検診事業を受けている方が回答するとはいけないので、検診事業を受けたことのない方も、当然無作為抽出でアンケート用紙が送られてくるわけですから。そうすると、事情を知らない方と知っている方という事で程度差が出ますから、現在無料であるという事をうたわないと、違った回答になってくるのではないかと思いがかりました。ですから、このような質問をしたのですけれども、今回のアンケートの設問で行くと、私の疑問点に答えたような設問にはなっていないかなと思っています。私は別の場所で、質問することが出来ますので見解だけを述べておきたいと思います。

福祉保健部長 ご意見は頂戴いたします。

会長 板倉委員よろしいでしょうか。他に何かご質問・ご意見等ありませんか。

問11の各種検診の受診状況なのですが、なかなか難しいとは思いますが、対象者が20歳以上であって、無作為抽出でやっている訳なんですけれども、例えば大腸がん検診の場合、対象が市の検診に関しては40歳以上になっていて、対象年齢がありますので、皆さんに同じように質問をして%を出すと正確なものが出ない。対象者のうちの何%かという様に出す方が、正確な数字が出るのではないかと思います。大変で面倒くさいとは思いますが、そのようになっていないですね。

岡研究員 設問が全体に関してなので、そのような回答割合になっています。対象者のうち何割かという形になっていまして、クロス集計はしていきます。他の設問に関しても同じようにしていきますが、他にご希望がありましたら、お聞きしますが。

会長 他に何かご質問・ご意見等ありませんか。かなり込み入った状況や当然そうなのかなというものもあり、意外に思ったものもあり本当に大変ですね。特にご質問・ご意見が無ければ、議事の2番に入りたいと思います。その他についてお願いします。

健康課長 次回の日程ですが、今年度は保健福祉総合計画策定という大きな議題がありまして、以前スケジュール表をお渡ししていると思いますけれども、今回は6月に設定したいと思います。会長の意向から6月24日の金曜日の同じ時間にしたいと思います。皆様のご都合はいかがでしょうか。金曜日、1時半からこの会場で行いたいと思います。

古明地委員 金曜日はちょっと都合が悪いのですが。

健康課長 出来るだけ皆様のご都合がよろしいのがいいと思うのですが、まずは会長のご都合と皆様のご都合があう、一番出席率の高いところで日程の設定をしたいと思います。今のところ都合の悪い方はお一人という事でしょうか。他の方はよろしいでしょうか。それでは事務局の方で調整いたしまして、またご連絡したいと思います。出来るだけ6月中に設定したいと思いますので、会長と調整いたしましてなるべく早く決めたいと思います。

会長 それでは、日程については後日お知らせいたします。その他の事項につきまして、ご意見等ございますか。ご発言がありますか。

古明地委員 1番のことに戻ってしまうのですが、先程年齢制限によって検診の部分に条件があるという事、それと同じように検診によって無料と有料がありますね。検診に有料か無料の表示をしていただくと、年齢の条件と有料の金額的なものを組み合わせてもらえると、より正確に出る気がするのですが。

福祉保健部長 今現在有料なのは、先ほど申し上げたように乳がん検診のマンモグラフィを使う2,000円の分だけで、それ以外につきましては無料です。

古明地委員 それでは撤回いたします。

会長 何か他にご質問等ございますか。

鴨下委員 アンケートのからみでもっと何か、詳しいデータが出るのですか。

岡研究員 はい、今回は結果を純粹に集計したもので、今からやろうとしているのは男女別、年齢別等分類して、次回詳しいものをお示ししようとしているところです。今回は時間的にそこま

でできていません。

会長 後日最終結果を報告するのですね。他にご質問、ご意見等ございますか。無ければ、本日の会議は終了させていただきます。どうもありがとうございました。